

三翠化学会

令和4年度三翠化学会総会の記録

(題字は稲川先生)

第71号

令和4年8月10日 発行
三翠化学会

津市栗真町屋町1577

三重大大学院生物資源学研究所内

電話 / (059) 232-1211

振替 / 00890-1-59345

印刷 / 株式会社 あるむ

TEL (052) 332-0861 大8 長谷川 正一

定年のご挨拶と近況

奥村克純

三翠化学会の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。

皆様、いきなり恩師扱いしていただき、手土産の「なが餅」をいただいたのが、つい先日のように思い出されますが、昭和六〇年四月、助手として農学部農芸化学科生物化学講座(故)嶋林教授、現在、分子細胞生物学教育研究分野)に赴任して、三十七年間の長きにわたり三重大に奉職し、この三月になんとか定年を迎えることができました。最終講義は「誰のおかげで」と題しましたが、

ともかくまわりの教員・職員の方々、研究室の学生諸君、そして(故)嶋林さんを始め、皆様方に支えられたおかげと感謝しております。

四月からは鈴鹿医療科学大学にて新しい取組みをはじめつつありますが、研究活動については招聘教授として、三重大でもしばらくは科研費研究や共同研究を続けさせていただきます。今後も三重大のさらなる発展を願い、できれば少しでも何らかのお役に立ちたいと思っております。

運営面では理事・副学長(研究担当)として三重大の研究・産学連携の統括、地域イノベーション学研究所の設置やリサーチセンター制度の導入、生物資源学研究所長・学部長として、全国

農学系学部長会議副会長や学内的には水産実験所の移転新築、神宮へは導きませんでした。が硬式野球部部長、何と言ってもこの二年はコロナ対応を経験させていただきました。おかげで、三月末日夜まで研究科長職に専心、自らにも退職辞令を交付、四月一日朝から新しい職場に出勤という

ことで、引き続きや居室の片付けが全くできておらず、時間外に立ち寄り日々です。一年かけてがんばります。受賞講演や最終講義については、一夜漬けでとりあえず行いましたが、今後時間をかけてまとめもしていきたい。分子細胞生物学研究室のホームページ(https://katsui2634molcell.wixsite.com/molcellbio)からしばらくリンクしていただければ幸いです。ともかく張り、いつも準備不足でやり残し、しかし懲りずに止まらずに進みます。皆様方から気軽にメール等で連絡いただきたく、また、懐かしい集まりには出向きますので、今後もよろしくお願ひ申し上げます。

嶋林会長を偲んで

小畑 仁 (大15)

彼ほど会長職にふさわしい人はいないと思う。統率力、人望、そして何より使命感にも似た気力、どれをとっても卓越していた。人とのつながりを大切に、何事にも積極的であった。どれも自分には及ぶところであったと記憶している。農芸化学科は、地元にあつて目標とされる大学、学科であり、地元の津高等学校から常に何人かが入学していた。津校会という集まりがあつて一〇人以上が年に数回飲食を共にしていた。その会で、彼は一年後輩であったが強い存在感があつた。酒が弱く甘いもの

ならいくらでもいただく、などと言っていた私をそれとなく気遣い、居心地の悪い思いをさせないでいてくれたことを思い出す。嶋林先生が立ち上げられた三翠化学会で、当時四日市勤務であつた彼が先生の右腕として活動されたことは、関東にいた私にも少しづつ伝わっていた。その後私が農林省から大学に戻り、縮小し続ける予算を立て直すため、寄付を募って機関誌を存続させる手立てを考えてくれ実行できた。

彼が関東から三重に戻ったところ、私は化学会会長職を仰せつかつており、大きく変わっていく大学のありようと、それに伴う同窓会の変貌をなすすべく見ていた。その時彼は力強い「喝」を入れてくれた。半世紀前の神原でのイベントを再度やってみようということになり、彼の力により伊勢志摩で同様の企画を実行することができた。さらに、縮小し続ける予算を立て直すため、寄付を募って機関誌を存続させる手立てを考えてくれ実行できた。

彼のたぐいまれな実行力は、彼が会長職を引き継いでくれたあと大きな発展を生んでくれる、と確信していた。それが少しずつ実を結びうとしていた矢先、こんなに早く別れが来るとは計報を聞くまで想像だにないでいた。惜しい人を失った。己の体力、気力の低下が著しい今、喪失感ばかりにあまりにも大きい。今はご冥福をお祈りするばかりである。

日本農芸化学会功績賞

受賞のご報告
奥村克純

このたび奥村克純の「動物細胞ゲノムの構造・核内動態とその制御に関する分子細胞生物学的研究」に対して、二〇二二年度日本農芸化学会功績賞が授与されました。ご存知のように日

本農芸化学会(会員数約一万人)は、世界で初めてビタミン(オリザニン(ビタミンB1))を発見した鈴木梅太郎博士が初代会長で、令和六年に創立百周年を迎えまる伝統ある、産業界とのつながりが強い学会です。私のような生命現象の基本的原理を解明する実用化が見えにくい基礎研究が選ばれるのは異例と思われ

持への応用、「ゲノム設計・人工細胞の構築による未来の物質生産技術の開発」など、実用への礎となる研究として評価されたものと感謝します。

子細胞生物学研究室で行われたもので、Ward研究室諸氏、自由にやらせていただいた(故)嶋林幸英先生、田口寛先生、定年後までご迷惑をおかけしている竹林先生、共同研究でずっとお世話になっている辻製油(株)籠谷次長、個々にも挙げたく、とても一言ではま

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

令和4年度三翠化学会 同窓会のご案内

記

日時 令和4年9月10日(土曜日)

10:30 受付開始

場所 三重大学生物資源学部 216 室

総会 11:00 ~ 12:00

軽食(昼食)は用意します。懇親会はございませんが、引き続き三翠同窓会総会、100周年記念式典が12時30分から大講義室で行われます。

同封いたしましたはがきで、総会への出欠や近況などをお知らせください。ご連絡お待ちしております。



このたび奥村克純の「動物細胞ゲノムの構造・核内動態とその制御に関する分子細胞生物学的研究」に対して、二〇二二年度日本農芸化学会功績賞が授与されました。ご存知のように日

本農芸化学会(会員数約一万人)は、世界で初めてビタミン(オリザニン(ビタミンB1))を発見した鈴木梅太郎博士が初代会長で、令和六年に創立百周年を迎えまる伝統ある、産業界とのつながりが強い学会です。私のような生命現象の基本的原理を解明する実用化が見えにくい基礎研究が選ばれるのは異例と思われ

持への応用、「ゲノム設計・人工細胞の構築による未来の物質生産技術の開発」など、実用への礎となる研究として評価されたものと感謝します。

子細胞生物学研究室で行われたもので、Ward研究室諸氏、自由にやらせていただいた(故)嶋林幸英先生、田口寛先生、定年後までご迷惑をおかけしている竹林先生、共同研究でずっとお世話になっている辻製油(株)籠谷次長、個々にも挙げたく、とても一言ではま

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大

その後は、所属する会社の再編、発展により関東に行き、一部上場企業の役員にまで上り詰め、関連会社の社長職を歴任したと聞いている。海外での武勇伝もあつたようだ。このころの彼については奥方の清子夫人などから少しずつ漏れ聞いていた。夫人とは少し離れた親戚関係にあり、大



関東支部の情勢報告

「コロナ禍の影響を受けて」

新型コロナウイルス禍で、皆様におかれても日常生活に大きな影響を受けておられる方も多いと思えます。亡くなられた方にお悔やみを申しあげますとともに、医療従事者他関係者に対して感謝しあげます。

関東支部の活動も大きな制限を受けました。前年度(平成三十二年)と令和二年(平成三十二年)の活動は平成三十一年三月一七日と令和二年三月三十一日迄ですが、支部委員会は役員協力を得て、何とか六回開催できました。しかし、コロナ禍の影響で、

令和二年三月八日に開催予定の第九回交流会・懇親会、令和三年四月予定していた第一六回支部総会が中止とせざるを得ませんでした。総会については、初めての試みですが、三月二十九日付けで書面での報告となりました。内容は、活動報告、収支報告、役員改選で、支部運営協力費のお願いも致しました。

また、第九回交流会については、令和三年の三重高等農林設立一〇〇周年にあわせて令和四年三月四月の開催を計画しました

が、コロナ禍で延期せざるを得ず、今年度の第一回支部委員会(令和三年一月二日開催)で、二年に一回の総会開催も鑑み、今年度は交流会を開催しないことにし、令和五年三月四日に総会を開催することを決めました。講演会も企画しており、内容は三重高等農林一〇〇周年を話題としたものと、当初から予定していた「離島を巡る(仮題)」の二題を計画しています。

また、第九回懇親ゴルフ大会も中止せざるを得ず、令和五年の総会に向けて粛々と活動を進めていきたいと考えています。

嶋田協先生を偲んで

応用微生物学 栗冠和郎

嶋田協先生は、令和四年一月二四日に誤嚥性肺炎のため九〇歳で逝去されました。

嶋田先生は、昭和二六年に三重農林専門学校を卒業された後、三重大学農学部発酵学研究室職員となられた。昭和三三年に同研究室の助手に任ぜられた。その後、助教授、教授に昇進された。部局の改組もあり、平成六年に定年を迎えられた時の研究室名は生物資源学部応用微生物学研究室であった。三重農林専門学校入学から三重大学生物資源学部で定年を迎えられるまでの四六年間を、三翠の学園で濃密かつ充実した生活を送られたことになりませぬ。この間、ハワイ大学医学部(昭和四三〜四四年)とマサチューセッツ工科大学(MIT、昭和五八年)の二回の米国留学を経験されています。また、大阪市立大学(昭和四一〜四二年)と東北大学農学部(昭和



でしたが、心機一転、昭和三十一年に三重大学農学部農芸化学科三年生に編入されました。卒業後、再び三重大学農学部発酵学研究室職員として勤められた。昭和三六年に同研究室の助手に任ぜられた。その後、助教授、教授に昇進された。部局の改組もあり、平成六年に定年を迎えられた時の研究室名は生物資源学部応用微生物学研究室であった。三重農林専門学校入学から三重大学生物資源学部で定年を迎えられるまでの四六年間を、三翠の学園で濃密かつ充実した生活を送られたことになりませぬ。この間、ハワイ大学医学部(昭和四三〜四四年)とマサチューセッツ工科大学(MIT、昭和五八年)の二回の米国留学を経験されています。また、大阪市立大学(昭和四一〜四二年)と東北大学農学部(昭和

さないことへの思いで、有志の方で懇親ゴルフを令和二年、三年、四年と毎年開催してきました。

今年度(令和三年四月〜令和五年三月)の支部委員会は、令和三年一月二日、一回だけの開催になっており、今年一月、三月実施予定の支部委員会も中止せざるを得ない状況です。コロナ禍も近々では下火になっているようで、今後は、本部長を兼ねる予定になっており、令和五年の総会に向けて粛々と活動を進めていきたいと考えています。

飯田さんを偲ぶ

山口政行 (大22)

吉田吉明 (大18)

本部長の杉崎三翠化学会会長が亡くなられた同じ時期に、関東支部飯田徹也副支部長(大学23回)が亡くなられました。飯田さんは、令和三年一月二日の今年度の第一回支部委員会に出席されてお元気な様子だったので、一月二三日に、一月末のCT検査で癌が見つかり、二月二日大腸カメラ検査の結果から切除手術をしたが、他の部位に転移している内容のメールがありました。一月八日に、一月二八日に再入院し、一月六日から抗がん治療を開始するとのメールがあり、併せて支部委員会の役員を辞退したいとのことでした。同じ仲間なので、会期末で名前を残しておきたいと返信しました。その後、二月九日に、「ビール事始め」の資料、関東支部の名簿、ゴルフのハンドブックの閲覧など、メールで送っていただきました。覚悟が決まっていたのかもしれませぬ。その後、音信不通となり、三月一四日消印の訃報の葉書がお嬢さんからあり、二月二四日永眠されたとのことでした。最後のメールから二週間でした。一月に会った時はあんなに元気だったのに、こんな短い間で、驚きしかありません。無かし無念であったと察いたします。日頃から、検査には気を使っており、健康には注意を払っていただけに、飯田君がとて思えてなりません。

今日私が偲ぶのは、ひとえに嶋田先生のおかげです。嶋田先生との出会いは、先生が東北大学農学部内地理留されたことと、私は修士課程の一年生でした。当時は、学部や学科内でのスポーツが盛んでしたが、卓球では先生の右に出るものはなく、先生がサーブをするともにも受けられずボールがあらぬ方向へ飛んでいったものでした。また、松島湾での船釣りで、船上で固まっている姿を思い出します。運動神経の良い者は船には弱く、が持論でした。この出会いがあり、大学院修了時に三重大学農学部発酵学研究室に助手として採用していただきました。

先生の研究テーマの主なものとして、「糸状菌由来のプロテアーゼとそのイン

を感心して見ていました。それから半年余りでした。飯田さんは、第一二回支部総会の平成三十五年二月から、副支部長をやつて頂き、その時に「ビール事始め」と題して、講演をお願いしました。アサヒビールの美味しさの秘密を自分がつくった如く、話したこととを今でも思い出します。

飯田さんに後任をお願いし、

吉田吉明 (大18)

「希望の星」と言われて、

山口政行 (大22)

神様はその人に耐えられない試練は与えないと言われるが本当だろうか。繰り返して、繰り返し試練を受ける本人に原因があるのだろうか。生まれた時から遺伝子の中に一生に受ける試練が刻みこまれており、自身自身ではどうすることもできないのだろうか。

二三年前のある日、激痛が腹部に走りまわった。救急車が駆けつけ、救急センターへ。小腸穿孔で小腸の一部切除の手術を受けた。担当医師から難病のクロン病だと告げられ、二月余りの入院後退院した。

賀会を開催していただきましたが、その折りに、嶋田先生には暖い言葉をいただきました。発酵学研究室から応用微生物学研究室に名称変更されたのち、微生物工学、再度の応用微生物学を経て、現在は微生物遺伝学研究室と名前が変わっています。万能的微生物の能力を引き出すという、基本的な立場は変わっていません。このことをご報告し、嶋田協先生のご冥福をお祈り申し上げます。

今、私は

ビールの話になると止まらない、どこかの店に行ってもスーパードライでした。ゴルフ大会では、三翠化学会の名前のオンライン会議のアイディアなど、多くのアイディアを出して頂きました。関東支部長を平成三三年から六期二年務めており、飯田さんに後任をお願いし

と考える日々。自死を試みたこともあり、妻にはどれほどの心配と不安、絶望感を与え、未来への希望を断ち切っていたことか。その後、妻の献身的支えで仕事が出来るまでに回復したが、再就職先が倒産してしまつた。

マンション管理員の仕事で復帰。ある住人さんからウツ病について相談を受けた。その後、お札と現在の心境を吐露した手紙をいただいた。

働き盛りの時にウツ病を患い、長い間の療養期間を経てお仕事を復帰されたこと伺いました。実は主人が同じように働き盛りに心を病み、年齢を考えると仕事に復帰するのは無理だろうと思っていたのですが、管理員さんのお元氣なお姿を見て、とても勇気をいただきました。どうやってここまで元氣になられたのかという過程や心の動きを知りたいと思いましたが、お借りした本やエッセイなどを読ませていただきました。本来お持ちの積極性や好奇心、自然や人々への愛情、そうしたものが病気の克服の大きな力になったと推察いたしました。何よりも奥様の支え、それが素晴らしいと思えました。先の見えない状況に、様々な不安や葛藤があり、葛藤が葛藤を押し上げていたのだと思うのには、目を絶ちきつてしまふ。仕事からみれば、お辞め。周囲の方々へは病に苦しむ人へ寄り添い見守ってほしい。不必要な励ましや言葉はいらない。

ウツに苦しむ人たちが一日も早く、夜空に輝く星を見ながら「美しい」と感じられる日が戻ってくるのを祈念する。

平成五年一月に主催された国際学会「三重バイオフォーラム」は、先生の嫌気性細菌由来セルラーゼの研究の集大成として特筆すべきもので、若い学生たちの目を世界に向けさせるインパクトがありました。常に学生のために思い、学生からも慕われる先生だったと思います。

定年退官後も、釣りや卓球、合唱団と、お忙しくお過ごしでした。私自身、四年前に定年を迎え、記念祝

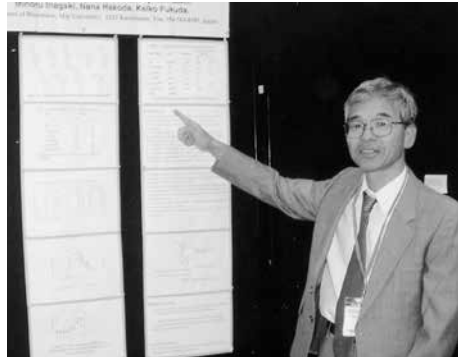
を感心して見ていました。それから半年余りでした。飯田さんは、第一二回支部総会の平成三十五年二月から、副支部長をやつて頂き、その時に「ビール事始め」と題して、講演をお願いしました。アサヒビールの美味しさの秘密を自分がつくった如く、話したこととを今でも思い出します。

飯田さんに後任をお願いし、

吉田吉明 (大18)

西川司朗先生をしのんで

生理活性化学教育研究分野 教授
稲垣 穰



西川司朗先生は、令和三年九月一二日に七二歳で逝去されました。コロナ禍緊急事態宣言下でもあり、ご葬儀は御身内で行われました。

西川司朗先生は、令和三年九月一二日に七二歳で逝去されました。コロナ禍緊急事態宣言下でもあり、ご葬儀は御身内で行われました。先生は、昭和四十七年三月に三重大学農学部農芸化学

今、私は

～為せば成る～

中浦守浩 (大35)

「為せば成る」……私はこの言葉を教訓に社会を歩み続け、早四〇年近くになろうとしています。大学を卒業してすぐに、開校二年目の地元奈良県にある西和学園に採用され、中等学校の数学・理科教諭として二九年在職しました。当初は、中堅公立高校のすべり止め、ごく平凡な私立高校だった西大和学園。しかし、いつかは「日本一の進学校になろう」と、創設者の格言「為せば成る」のもとに夢を追い求め日々奮闘しました。わずか数年で驚異的な進学率を誇るようになり、あつという間に奈良県トップの進学校へと駆け

あつた有機化学の授業を毎週京都から西田先生が来て下さり、学生に講義して頂きました。すぐに大学院修士課程に進まれ、昭和四九年に修士課程を修了されました。修士課程の修了後に、元農学部の農芸化学科の農薬化学研究室に助手として採用され、それから三三年間教鞭を執られました。私(稲垣)が平成三年に生理活性化学研究に赴任した時には、教授は、柏村直樹先生、助教が西川司朗先生でした。生物資源学部

に組織改編した際に、農薬化学から生理活性化学に改名されたのです。柏村先生は、新しもの好きであれこれイベントを企画したり、面白い物したりするのに対して、西川先生は、いつも通りのことをしつかり行うのを旨としていて、違っていました。西川先生は、学生

に対する指導の際には、自ら実験を見せて指導してくる先生でした。実験方法や同時に複数の仕事をこなさなければ成らない操作では、学生が難しいです。出来ません、と言うのですが、それを西川先生は、こうして、こうやって、こうするんだよ、と鮮やかにやってのけて見せてくれるのでした。仕事では、慎重でしっかりした先生ですが、ご趣味ではなかなか活発でヤンチャな面があった様です。釣りと登山が先生の大好きな趣味で、研究室のメンバーで登山に行ったことも何度もあり、北アルプスにまで遠征したこともあったと聞いています。私は、先生と一緒に鈴鹿の竜ヶ岳に登ったことを覚えていますが、まず前日に、宇賀溪にテントで一泊し、朝ご飯を

皆で食べてからおにぎりを握って、さあ出発です。その時の先生の登る姿は颯爽と、とても速くて、当時若かった私も、もつと若い学生たちも到底追いつくことができません。皆が疲れた頃を見計らって、「休憩、休憩ね」と声を掛けられ、「何か食べようか、チョコレートとか、お煎餅とかを食べろ」と指示が出ます。小休止の後にはまた颯爽と登って行かれます。息一つ切らせていない先生がすごかったです。そして、なんと全員で登頂できました。また、学生と一緒に賢島に釣りに行ったこともあり、貸し切りの様な岩場で釣りをしている内に潮が満ちて道が無くなったとき、一〇メートルくらいある岩のガケを、ココを登れば大丈夫」とさらさらとおっしゃり、スイスイ。学生た

セルフメディケーション

西本和実 (大33)

皆さんは、「セルフメディケーション」という言葉を存じだろうか？ 私のような、業界界に身を置いてきた人々には、もう耳慣れている言葉かもしれない。しかし国民一般への浸透度はまだまだだと感じる。

セルフレメディケーションとは、WHO(世界保健機関)では、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義されている。平たく言えば、

「日ごろから、自分の健康状態を知って生活習慣を見直したり、市販薬(業界界ではOTC医薬品と呼ぶ)を活用したりするなど、自分自身で健康管理や、軽度の病気の予防・対処を行う」ことである。

最近では、「人生百年時代」と言われるほど、平均寿命が長くなったが、それに伴い、生活習慣病の増加なども問題になってきており、そのような時代背景において、毎日どのような健康に生きるかが課題となっている。そこで、セルフメディ

ケーションの考え方が注目されてきている。セルフメディケーションの効果として、以下の四つが挙げられている。

一、毎日の健康管理の習慣が身につく

二、医療や薬の知識が身につく

三、健康管理をすることで、病気にかりにくくなり、医療機関で受診する手間と時間が省かれる

四、通院、入院が減ることなどで、国民医療費の増加を防ぐ

簡単な例だが、「血圧が高いので塩分の多い食品を避ける」「脳出血、心筋梗塞等のリスクが下がる」「尿酸値が高いので、プリン体を多く含むビールは控える」「結石、痛風のリスクを下げられる」というのも、立派なセルフメディケーションの実践である。それに加えて、軽くてもよいので、運動を日課に加えれば、よりセルフメディケーションの効果が上がることが期待される。

セルフメディケーション

では、「自身で健康は管理せよ」という、一見当たり前のことが掲げられているが、国、厚生労働省のホネは明らかに、四の国民医療費の抑制が最大の目的である。

かなり前から、従来は医療用でしか使用できなかった医薬品成分のうち、比較的安全性が高いと判断されたものを、スイッチOTC医薬品(スイッチとは、医療品(スイッチ)とは、医療用だったものを一般用に転用したという意味)として、一般の人でも自分の判断で購入・使用できるようになってきたが、これもセルフメディケーションの動きの一環ととらえることができる。解熱鎮痛剤のイブプロフェン、消炎鎮痛剤のジクロフェナクナトリウム、最新の水虫薬成分などがよく知られたものである。スイッチOTC医薬品は元々が医療用だったこともあり、従来の市販薬よりも効き目がシャープなものが多い。

また、セルフメディケーションを推進する方策の一つとして、「セルフメディケーション税制」というものが設定されている。これが設定されているのは、セルフメディケーション税制の対象となる医薬品に、先に述べたスイッチOTC

医薬品だけでなく、従来からの市販薬でも、「税制対策指定品目」に指定されたもの(製品に、後に示したマークが付けられている。マークがついていないものは、異なる製品との組み合わせでも可)を、年間一万二千元以上購入すると、レシートを添付した上で確定申告すれば、税金が還付される制度である。従って、医薬品購入時に、医薬品の包装をよく見ていただき、示したマークが付けられているれば、レシートを捨てずに保管いただきたい。この税制の対象品目は製造販売業者のホームページにも紹介されていることが多いので、購入された医薬品がこの税制の対象品目か該当するかどうかは、ご自身でも確認されるようお勧めする。

ここ数年、コロナ禍で、「日頃から体温を測ること」「マスクをすること」「多人数での飲み会等は自粛すること」「公共交通機関に乗った時は、窓を開けて換気すること」等が呼びかけられているが、これも、「日ごろから、自分の健康状態を知って生活習慣を見直すこと」という、セルフ

メディケーションに沿った動きの一つということができる。

どうか、皆さんも「どうせ健康保険からお金が出るし」と安易に医者にかかるのではなく、普段から、ご自身の体調、持病等を十分知っていただき(そのためにも毎年定期健診や人間ドックは必ず受けていただきたい)、その上で病気に

かかりにくい、または持病の進行を抑える行動を取って欲しい。それが長い目で見ると、重大な病気の早期発見、ご自身の長寿、家族のみなさんの笑顔にもつながるはずなので。

(小林製薬株式会社)

められたところで体調不良になり、平成一九年にご退職になられました。それ以来、ご病氣療養中と伺っておりましたが、残念ながらお亡くなりになられました。先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。先生の飄々とした、しかし、強い芯のある姿勢を見習って、後進の私たちが一歩ずつ前に進んで行かねばなりません。

柏村先生のご退職に続いて、西川先生は教授に昇進されました。同じくして、私も助教に昇進しました。その頃の大きな出来事と言えば、ニューヨークの九・一一事件です。世界ではその後色々な紛争も起こり、戦禍に苦しむ方も多かったのですが、ここ近年になって、新型コロナウイルスによる災厄、さらにウクライナにおけるリアル

な武力衝突がこり、平和であること、何も無いことがこれほどまでにありがたい物であることを実感することになることは、だれも想像できませんでした。しかし、そんな災厄の中で西川先生が健在であられたならば、「大丈夫、慌てないで過ごすしか無い」とあつさり言われると想像します。教授に昇進された西川先生でしたが、数年前

「日頃から体温を測ること」「マスクをすること」「多人数での飲み会等は自粛すること」「公共交通機関に乗った時は、窓を開けて換気すること」等が呼びかけられているが、これも、「日ごろから、自分の健康状態を知って生活習慣を見直すこと」という、セルフ



セルフメディケーション 税制対策指定品目の医薬品につけられているマーク

セルフメディケーション税制の対象のマークの例 (小林製薬株式会社)

●令和三年度 卒業生就職・進路先●

愛知県庁	株式会社ナリコマエンタープライズ
朝日インテック株式会社	ニプロファーマ株式会社
アビ株式会社	日本ガイシ株式会社
株式会社アリミノ	日本海環境サービス株式会社
兼松エレクトロニクス株式会社	一般財団法人日本食品分析センター
株式会社空土	株式会社浜乙女
サンエイ糖化株式会社	万協製薬株式会社
静岡県庁	株式会社フジミインコーポレーテッド
スズカファイン株式会社	三重県庁
太陽化学株式会社	三重大学大学院地域イノベーション学 研究科
辻製油株式会社	三重大学大学院生物資源研究科
株式会社榎屋	株式会社明治
株式会社東八ト	ヤマモリ株式会社
名古屋市役所	WDB 株式会社
名古屋大学大学院生命農学研究科	

(順不同)

今、私は

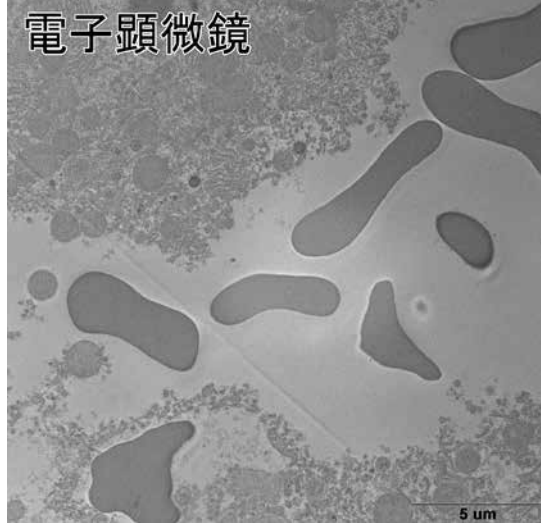
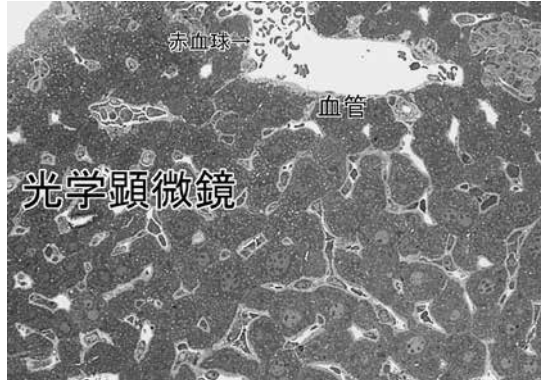
〜金属原子の粒々も見えますよ〜
川上厚子(大4)

縁あって大阪大学超高压電子顕微鏡センターに勤務しております。

電子顕微鏡は、光学顕微鏡では見ることのできないウイルスなどの小さな対象物を見ることが出来ます。光学顕微鏡は可視光線を利用して対象を見る顕微鏡で、倍率は数十倍から二〇〇〇倍程度で色彩があります。電子顕微鏡は高圧で加速された真空中に放射された電子線をレンズに使った顕微鏡を指します。主にウイルスやDNAなどのマイクロリという極めて小さい対象物を見ることが出来ますが、色彩がなく

白黒です。電子顕微鏡では金属の結晶構造や原子も観察できるので、今回は赤血球を例としてお話をさせていただきます。先に光学顕微鏡写真を見てください、組織を紫色に染色してありますので空白の部分血管です。この中にある小さな湾曲した粒子が赤血球です。次に電子顕微鏡写真を

見ていただきますと、大きく湾曲した桿状のものが見



えます。これが赤血球です(赤血球の直径は七〜八マイクロメートル程度)。赤血球の大きさの違いに驚いていただきたいのですが、電子顕微鏡ではもっと小さな世界を覗き見ることが出来ます。電子顕微鏡の技術進歩は凄まじく、分子・原子レベルでの観察、試料の化学分析など極微領域の構成元素と構造に関する情報を得られるようになりま

が出来ます。この文章で電子顕微鏡の素晴らしさが伝わっていただければ幸いです。実際の私は試料をにらみつけて見えない試料を見ようとし、不安な気持ちで顕微鏡を覗いています。

皆様からのご厚志は随時承っております。金額の多寡にかかわらず喜んで頂戴いたします。郵便局よりの振込には、表紙題字の下に記載の振替口座番号宛お振込みください。

銀行やコンビニATM等からでも振込は可能です。

その際は、使用可能な銀行キャッシュカードをご使用いただき、

銀行名…ゆうちょ銀行

金融機関コード…9900

預金種目…当座

店名…089店(ゼロハチキウウ店)

口座番号…0059345

にて振込手続きをお願いいたします(振込手数料は当方負担とさせていただきますので手数料分を差し引いてお振込ください)。

会計担当…木村(大25)

卒業生の出版紹介 エッセイ集「植物ふれあい図鑑」

「そよ風に吹かれて」二〇一〇年東洋出版、「ふれあい交差点」二〇一四年三帆舎に続く三冊目のエッセイ集。

山口政行(大22)

兵庫県川西市内や大阪府池田市、郷里・兵庫県多可町内などで出会った四季折々の花と花がご縁となり出会った人々や家族との温かいふれあい。マンション管理人と住人さんとのふれあい、日常の何気ない出来事を著者の目線で切り取った珠玉のエッセイ集。著者が撮りためた花の写真も美しく心にしみ込んでくる。

「はじめに」から

……情報化時代の何かと多用な現代社会では、ストレスも多く、うつ病予備軍が何かのきっかけで発症する危険を多くはらんでいる。休みの日には外に出て仕事を忘れ、自然の中で気分転換を図り、家族団欒の中で

心身のリフレッシュすることが大切だと思う。かつてにぎわった商店街もシャッター通りと化し、マツサージ店がいくつも並んでいる。アロマテラピーが人気となり香をたたく人も多い。心身に悩む人は多いようだ……

私は三五年ほど前、思いもよらない小腸穿孔で緊急手術を受けた。難病のクローン病だとわかり、食事制限や手術による癒着で今までの生活と比べると不自由な生活を強いられることになった。さらに、仕事からみで心的病から仕事ができなくなった数年の暗闇の間もあつたが、現在は心身共に健康で好奇心旺盛の毎日と目まで直接会話するこ

とや、手紙などで友人、知人と意思疎通を図り、心情を吐露する「ふれあい」の素晴らしさを多くの皆さんに知っていただければと思う。「山口政行」を検索していただければ幸いです。立ち読みコーナー(二六ページまで)でお会いしましょう。



令和3年度 卒業研究タイトル (紀要掲載の許可タイトルのみ)

- ・イネの遺伝子欠損変異体 *sqd2.1* および *sqd2.2* の脂質解析
- ・イチヨウ葉機能性成分の抽出条件と抗酸化作用の検討
- ・ササクレヒトヨタケに含まれる DPPH ラジカル消去活性物質の探索及び成分同定
- ・小豆成分がコレステロール輸送体 *NPC1L1* 遺伝子に与える影響
- ・EGCG により誘導される細胞融合の機構解明
- ・ワインの蒸散成分に関する赤外分光特性把握
- ・バクテリオファージ ϕ X174 スパイクタンパク質 C 末端ドメインの LPS 結合能の解析
- ・深紫外 LED 光源を利用した細菌懸濁液の殺菌特性
- ・高速せん断による小豆ゲル形成における澱粉の挙動
- ・小豆煮汁廃液の分析とマウス血糖値上昇抑制作用の検討
- ・マルチバンド分光情報に基づいた抽出温度の異なる昆布だしの特性把握
- ・分子コーミング法を用いた N6mA 標識複製鎖の解析
- ・イチヨウ茶葉製法の改良を目指した機能性成分の分析
- ・アオイラガ幼虫分泌液に含まれる TRPV1 活性化ペプチド Pc-1 の活性化部位の探索
- ・*Paenibacillus xylaniclasticus* TW1 株由来キシログルカナナーゼの特性解析
- ・*Paenibacillus xylaniclasticus* TW1 株由来酵素 PxCel9A の特性解析
- ・パンレイシ科植物アテモヤの種子からの squamostatin-B の単離と同定
- ・養殖コオロギの食品一般成分組成と脂肪酸・遊離アミノ酸の組成について
- ・リン欠乏条件下におけるイネの変異体 *sqd2.1* の脂質リモデリング解析
- ・*Paenibacillus xylaniclasticus* TW1 株由来の還元末端キシロース放出エキソ型オリゴキシラナーゼの特性解析
- ・PhiC31 インテグレーションシステムを用いた長鎖 DNA 配列の特定ゲノム領域への導入
- ・イネに含まれるアシル化 MGDG の構造解析
- ・*Clostridium paraputrificum* におけるアセチル CoA からブチリル CoA への代謝経路の遺伝学的解析
- ・*Clostridium paraputrificum* のピルビン酸からギ酸への代謝経路の解析
- ・LC-MS を用いたゴマリグナン類の特異的分析法の開発
- ・老化細胞特異的な染色体異数性パターンが形成されるメカニズムの解明
- ・伊勢湾を中心とした新奇な高度不飽和脂肪酸を生産するラビリンチュラ類の単離
- ・受動拡散による膜透過性が高い環状ペプチドのアミノ酸の立体配置の探索
- ・好熱嫌気性細菌によるセルロースからのエタノール生産
- ・蛍光基を導入した抗炎症剤エステルプロドラッグの皮膚透過機構の評価
- ・小豆成分の抗酸化および細胞老化抑制作用の検討
- ・scRepli-seq 法を用いたマウス栄養膜巨細胞ゲノム増幅パターンの解明
- ・DNA コピー数変化と遺伝子発現を単一細胞で網羅的に同時解析する新技術の確立